



8 月 号

毎月1回 10日発行

発行所 八郷町役場

八郷町大字柿岡
電話(柿岡)4番

発行人 桜井嘉幸

戸数と人口 (7月31日現在)

世帯数 5,730
人口 男 16,225
女 17,016
計 33,241

無投票にて

農委公選委員決る

七月二十日に行われた農業委員会委員一般選挙は、七月十日に選挙執行の告示と同時に立候補の受付を開始し、同月十五日締め切日には委員十五名に對し十八名の立候補者があつたが、十九日に三名の辞退者があつたため無投票となり、左の十五名が公選委員に決定した。

吉田庚三郎74	無所属	旧柿岡
高橋秀雄53	"	旧小幡
鬼沢三右門60	"	"
岸守善48	"	旧吉穂
野村透一50	日共	"
富田清60	無所属	旧慈瀬
富田延生男60	"	旧瓦会
大槻茂男35	"	旧岡部
齊藤二男44	"	"
富田長次郎52	"	旧林
萩原喜文28	"	"
関孝広51	日本	旧小幡
滑川好道45	社会	"
雨貝順磨52	無所属	"

農業委員会の組織と選任委員

一、委員会は選挙による委員と選任による委員で組織される。
選挙による委員は、去る七月二十日の選挙で決定した。選任による委員は、選挙による委員定数の三分の一をこえることができないことになっている。
二、選任委員の選任方法は、

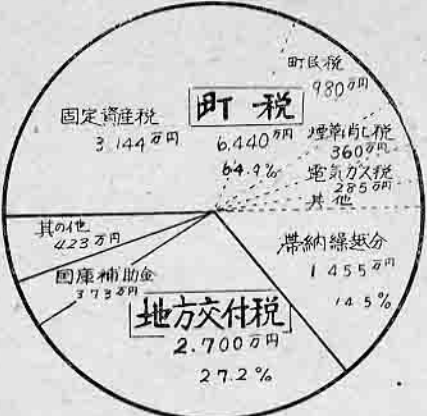
十月一日は 国勢調査

本年の国勢調査は、十月一日午前零時現在を以て全国一律に実施される。国勢調査は

五年目毎に実施され、本年は大正九年才一回国勢調査以来八回目の調査となつて居り、独立後の調査として国内の人口の状況を把握し、各種行政施策その他の基礎資料に供することを目的としている。調査については着々準備中であるが、調査項目の要点は次の通り
①氏名 ②世帯主との続柄 ③男女別 ④出生年月日 ⑤配偶の關係 ⑥国籍 ⑦九月二十四日から三十日迄の就業状態、所属事業所の産業、職業、従業上の地位 ⑧住居の種類、居住室の畳数 (調査課)

今年の町の収入見込み

一般会計 九、九三六万円

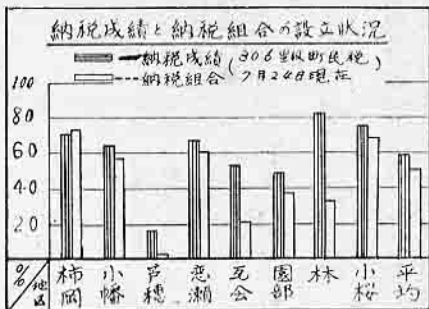


このグラフのように総収入九、九三六万円の約六五%、四四〇万円を町税でまか

なうことになつてゐる。なほその中、町税の二二%一、四五五万円を滞納税金であててゐる。この総収入の六五%に当る町税の納税成績が今年の町の事業を左右するものであることに、全町民は深い関心を持つてゐる。町民の負担は、人件費の増加、教育費、土木費、産業経済費等直接町民の負担である。一日も早く健全

納税組合を作りましょう

図表にはつきり表れてゐるように、納税組合のよく出来てゐる地区は納税成績が上がる。納税組合を作ると次のような得点があります。
①納税組合と一組合当り二〇〇〇円と一人当り一〇〇〇円と一三〇〇円の設立奨励金が出ます。
②町税を納期限内に完納すると、納税金額の百分の五と徴税令書一枚につき五円の報奨金が出ます。
③手続は簡単ですから、各支所に問合せ下さい。



小作地等状況調査

八月一日現在で、昭和三十年度の小作地等状況調査が行われ、この調査は皆さんの所有し又は耕作してゐる農地の権利関係を正しく調整するため、農地法にもとづき毎年一回全国一せいに進行される。調査の結果は九月一日から九月三十日までの一ヶ月間農業委員会の事務所で一般に公開縦覧されます。調査の内容に不服のある方は農業委員会に申し出て下さい。八郷町農委

保険税率を協議

七月定例国保運営協議会

七月二十六日飯島亮会長以下十三名の委員出席、保険税の課税標準と税率を慎重討議の如く意見一致、八月月上旬の町議会に於て実施される。課税割合 所得割 四〇% 資産割 一〇% 被保険者均等割 三五% 世帯別平等割 一五% 税率 所得割(本年度町民税の課税総所得金額の)一〇% 資産割(当年度固定資産税の)二・七% 被保険者均等割(被保険者一人につき)一〇〇円 世帯

八郷町役場の機構

町長	大槻忠夫	助役	菊地吉左門(税務、厚生、渉外関係)
総務課	課長 桜井助役	財政課	主事 岩本 佳之
税務課	課長 飯島 寛	戸籍課	主事 富田 光一
経済課	課長 小山 虎千	選挙課	主事 石田 道夫
土木課	課長 大久保寛治	戸籍課	主事 大枝早太郎
厚生課	課長 大槻 五郎	徴収課	主事 三輪 義夫
調査室	室長 仲村 亮	衛生課	主事 小幡 虎千
出納室	室長 小林 栄三	国民健康保険課	主事 吉田 信行
小幡支所	支所長 東澤鉄之助	衛生課	主事 小幡 虎千
吉穂支所	支所長 吉澤 恵之助	衛生課	主事 森田 要太郎
瓦会支所	支所長 吉田 農夫	衛生課	主事 森田 要太郎
岡部支所	支所長 小幡 虎千	衛生課	主事 森田 要太郎
林支所	支所長 武蔵 繁正	衛生課	主事 森田 要太郎
小幡支所	支所長 山田 和夫	衛生課	主事 森田 要太郎
教育委員会	委員長 田村 精	衛生課	主事 森田 要太郎
事務局	局長 田村 精	衛生課	主事 森田 要太郎

国保事務研修

協議会後、県保険課篠原主事を講師に研修会を続行、国保担当吏員の外に税務課員が進んで受講した。徴税吏員があつた。

小幡第二小学校新築第一期工事完成

小幡地区に於ける小幡第二小学校は、老朽危険校舎なので、その新築第一期工事を常陽建設山田雄氏の手で去る三月五日着工したがこの程度工した。総建坪 一一五坪 工費 二九六万七千円



(写真は竣工した小幡第二小学校)

農協10億増資

八郷地区推進協議会開催

七月二十八日八郷中学校講堂に各農協役員等関係者約五〇名参加して開催、県総会の決議による第三次増資特別推進を申し合せた。

◎各農協増資目標次の通り。

組合名	組合員数	組合員一人当り現出資額	増資目標	
			総額	平均額
園部	705	3,499	287	組合員一人当り4,160円
恋瀬	586	3,242	520	
小瀬	551	2,569	399	
小幡	696	1,499	290	
柿岡	547	1,388	157	
林	522	1,111	180	
瓦会	906	1,037	221	
計	5,123	688	77	

出資金の目標額は、その組合の固定資産評価額の $\frac{140}{100}$ を基準としてきめてあるので、固定資産評価額の高くしてある組合は出資目標額も多くなっているわけである。低目標額の組合は、この程度の出資では、組合の隆盛は望み得ないから平均目標の4,160円位の増資が望ましい。

増資運動の趣旨

目下農村経済はデフレ政策と農産物の世界的過剰生産の影響を受けて、極めて不安な現状にある。この直面する危機に際し農協がその真価を発揮する為には、組合員が益々強く団結し、出資金を更に増額して組合を強化することが

米の集荷予定数量

二〇、二一八石と決定

八郷町の集荷予定数量次の通り

柿岡地区	二、〇九〇石
小幡地区	二、七八八石
恋瀬地区	二、七三七石
瓦会地区	二、二六八石
園部地区	二、五七二石
林地区	二、九五五石
小幡地区	二、七二二石
計	二〇、二一八石

集荷業者（主として農協）は指示された数量に基いて、各部別に集荷予定数量をきめて売渡し申込みを受けるわけだが、売渡し数量が予定数量に達しないときは、現行の配給が出来なくなるので、農家は適正な数量を予約し、集荷業者は責任ある活動が望まれる。

なおこの制度を円滑に推進

売渡申込量の變更

今年の米の収量を平年作と見て予約するわけだから、病虫害、その他の災害で減収した場合に変更することが出来る。

米の政府買入価格

①玄米一石当り複式俵三等 一〇、〇三〇円

病虫害防除に一六〇万円

水田用農薬と防除器具を整備

◎苗代消毒 水、陸稲の種子及び苗代消毒については、既に町費五〇余万円で農薬の現物支給を行い、管内の防除隊又は生産組合、農家組合等は農薬等の活動によつて田植前に一斉防除を実施した事は皆御承知の通りだが、病虫害は苗代や種子からのみ来るものではなく附近の積糞又は畦畔などから田植後の本田に飛来して加害する害虫が多く又イモチ病などもこの様にして発病する場合があるので、これらの病虫害を防除して被害を最少限度に抑え、生産増進を図るべく、

◎本田用農薬 対しては発生面積の適確なる把握が困難である事、限定された予算の範囲内で操作する関係上、現物支給でなく各地区に於て農薬を取扱つてゐる農協に町費約六〇万円を各地区管内の水田反別に充てて補助し、この補助金で皆様の購入する農薬代を市価よりも安く分けて頂き、多くの方々が喜んで利用出来るよう過日地区内農協組合長さんと話し合つてこの様にきめましたから御利用下さい。

◎防除器具 次に折角農薬が整備されても、これを撒布する防除器具が完全でないとその目的を充分發揮する事が出来ないで、町費約一〇〇万



八郷の葉たばこ

順調な天候にめぐまれた今年の葉たばこは、米と共に豊作で、原田組合長の談によれば、今年は非常に被害が少なく、毎年二十五町歩位の被害申請があるのに、今年は五町歩程で、この分で行けば収納代金目標二億三千万円を上廻る成績と思はれる。耕作面積三四町一反（二十九年度二九二町九反）で、耕作人員一、九三二名（二十九年度一、八五八名）だから反当六万六千円、耕作農家一戸当り十三万四千円の収入となる。

写真は煙草耕作事務所前の原田雅雄組合長

公民館活動強化さる

八郷町公民館連絡協及全運委連絡協結成

町の八公民館の連絡機構整備は、町発足後より、協議中であつたが、七月二十二日公民館代表者会議で連絡協会長が選出され、いよいよ本格的な活動体制が出来た連絡協長の通り

八郷町公民館連絡協議長 榎井浩蔵

全運委連絡協議長 藤代 遠

尚各地区館長及連席会長左の通り

地区名	公民館長	連席会長
柿岡	吉田次郎	運審会長
林	矢口甲子丸	大久保潔
園部	長谷川 栄	長谷川 栄

江畑先生に感謝状

去る七月十五日町の教育委員長江畑先生が、模範納税者として土浦税務署より表彰された。

因に同先生は、県税も町税も毎年完納を続けられており昨年も町長より表彰されておられる。

感謝状

文 芸

山は晴れ、あやめの池をほめて登山のバスが行く
植えて見たとて潮来のあやめ
山の流れじや冷やすすぎる
柿の家
筑波山から紫と咲いたやうら
島のおやめと咲いたやうら
逢いに北利根あやめの里へ
筑波山からかけた虹
蚊帳の螢が眺まても
何をてらしていたのやら
片 野

あなたとはつとに納税の重要性を認識され、昭和二十七年以来三年間にわたり、率先して誠実に申告所得税の納期限内に完納を続けられたことは納税思想の高揚に寄与するところ多大であつて誠に感謝に堪えません。

よつてこゝに感謝状を贈呈いたします。

昭和三十年七月十五日
土浦税務署長 田中秀三郎

農事だより



（写真は江畑先生）

水稻の暴風対策

今年の稲作は順調に生育して居るが、今後の病虫害や暴風等の災害をふせいで豊年を視たいと思う。

◎暴風の場合は、水の多い田ほど被害が少ない。風害はひとつの生理的早害であるので水田の水を切るも其の被害が多くなり、又稲熱病や白葉枯病等を出すおそれがあるから、暴風警報があつたら水田へ水をはつて、其の後も適当

町でトラック購入

町役場では去る七月三十一日トラックを購入した。

五五年式四八二型日産貨物自動車、一〇五馬力・積載量五屯。

農委選任委員さる

八月六日の五名が選任された。

榎井利一（根小屋）
川井林平（柿岡）
藤代 遠（小山田）
友部太左工門（太田）
長谷川西蔵（瓦谷）

「おわび」

創刊号二面「広報紙の創刊に寄せて」の御寄稿者吉沢左内氏は「佐内」の誤りです訂正いたします。